

アルジェリア政治・経済月例報告 (2024年3月)

2024年3月
在アルジェリア日本国大使館

内政

- 1日、アスール変化と進歩のための同盟(UCP)党首は、次期大統領選への出馬を表明。
- 2日、アウシシュ社会主義戦線(FFS)党首は、同党が次期大統領選の傍観者に留まることはない旨発言。
- 7日、テブン大統領は、国際女性デーに際し、女性を称える式典を開催。
- 7日、シェングリハ国軍参謀総長は、国際女性デーに際し、女性幹部・職員を称える式典を開催。
- 10日、テブン大統領は、ラマダン開始に際し、国民向けメッセージを発出。
- 11日、ラルバウィ首相は、11月1日革命70周年式典準備委員会を設置。
- 11日、ベルマフディ宗教・ワクフ相は、複数県に新たなイマーム及びムフティ38人を任命。
- 18日、テブン大統領は、エル・ビナーのベングリナ党首と会談。
- 18日、テブン大統領は、19日の勝利祝賀の日(注:1962年、エビアン協定により独立戦争休戦が実現)に際し、国民向けメッセージを発出。
- 20日、テブン大統領は、自由のための先駆者達のベヌナーヌ党首と会談。
- 21日、テブン大統領は、次期大統領選挙の日程を繰り上げて9月7日(土)に実施する旨発表。
- 30日、テブン大統領は、定例インタビューにて、アルジェリアが過去に多くのことを成し遂げた偉大さを取り戻すことが最大の目標である旨表明。

外交

- 2-5日、ブガリ国民議会(下院)議長は、コートジボワール開催のイスラム協力機構加盟国議会連合(UPCI)会議に参加するとともに、ビクトゴ・コートジボワール国民議会議長、マアワリー・オマーン諮問議会議長、クルトゥルムシュ・トルコ国会議長と会談。
- 3日、テブン大統領は、当地訪問中のライースィ・イラン大統領と会談。
- 3日、テブン大統領は、当地訪問中のサイド・チュニジア大統領、メンフィ・リビア首脳評議会議長と三者会談。
- 3-5日、シェングリハ国軍参謀総長は、カタールを訪問し、第8回ドーハ国際海上防衛展示会&会議(DIMDEX2024)に参加するとともに、ジャーシム首長個人代表、アティーヤ副首相兼国防相、ナービト国軍参謀総長らと会談。
- 4日、アッターフ外相は、キャメロン英外相と電話会談。
- 4-5日、アッターフ外相は、サウジアラビアを訪問し、ガザ情勢に関するイスラム協力機構(OIC)緊急外相会合に参加。バーウール・リビア外相代行、ヌルトレウ・カザフスタン外相と会談するとともに、オドベスク・ルーマニア外相と電話会談。

- 5日、テブン大統領は、ガズワニ・モーリタニア大統領と電話会談。
- 5-6日、アッターフ外相は、エジプトを訪問し、アラブ連盟理事会の第161回閣僚級会合に参加するとともに、アブルゲイト・アラブ連盟事務総長、メルズーグ・モーリタニア外相、シュクリ・エジプト外相、ヤフヤ・クウェート外相と会談。
- 9日、アルジェリア・中国友好協会は、アルジェ・ドゥアニ公園に500本の苗木を植樹。
- 10日、テブン大統領は、サイド・チュニジア大統領と電話会談。
- 10日、アッターフ外相は、当地訪問中のカバ・シエラレオネ外務・国際協力相と会談。
- 10日、アルジェリアは、列国議会同盟 (IPU) 執行委員会の副議長に就任。
- 11日、テブン大統領は、マクロン仏大統領と電話会談。
- 11日、アッターフ外相は、ワリー国連薬物犯罪事務所 (UNODC) 事務局長と電話会談。
- 11-12日、クリク国民連帯・家族・女性相は、第68回国連女性の地位委員会 (CSW) に参加のためニューヨークを訪問し、パレスチナ女性の生存権に関する会合に出席するとともに、フランス国連総会議長、ハマド・パレスチナ女性問題担当相、タルマール・リビア女性担当相、マリヤム・カタール社会開発・家族相らとそれぞれ会談。
- 12日、テブン大統領は、エルシーシ・エジプト大統領と電話会談。
- 13日、アッターフ外相は、当地訪問中のアミルバヨフ・アゼルバイジャン大統領特使と会談。
- 13日、アッターフ外相は、当地訪問中のクープマンズ中東和平プロセスEU特別代表と会談。
- 13日、ニューヨーク訪問中のクリク国民連帯・家族・女性相は、紛争予防に関する安保理公開討論に参加。
- 14日、アッターフ外相は、シマオ西アフリカ・サヘル国連事務所 (UNOWAS) 代表兼国連事務総長特別代表と会談。
- 14日、ブガリ下院議長は、当地訪問中のアミルバヨフ・アゼルバイジャン大統領特使と会談。
- 14-15日、アッターフ外相は、エチオピアを訪問し、AU臨時閣僚執行理事会に参加するとともに、ムダバディ・ケニア内閣筆頭長官兼外務・ディアスポラ担当長官、タイエ・エチオピア外相、マカンバ・タンザニア外務・東アフリカ協力相、メルズーグ・モーリタニア外相とそれぞれ会談。
- 17日、外務省はコミュニケにて、モロッコによる在モロッコ・アルジェリア大使館の敷地没収を受け、可能な限り強い言葉で非難。
- 18日、テブン大統領は、プーチン・ロシア大統領の再選を受け、祝意を表明。
- 19日、アッターフ外相は、ブラナール・スロバキア外務・欧州問題相と電話会談。
- 20日、アッターフ外相は、セジュールネ仏欧州・外務相と電話会談。
- 22日、ブガリ国民評議会 (上院) 議長は、第148回列国議会同盟 (IPU) 総会参加のため上下両院の代表団を率いてジュネーヴを訪問。同地にて、23日、アゼルバイジャン国民議会議長兼非同盟運動 (NAM) 議長と面会。25日にゴンサレス・ラテンアメリカ議長、イラク代表団、カスティージョ・メキシコ下院議長と面会。26日にスウェーデン代表と面会。27日にスケレマニ・ボツワナ国民議会議長、バティマー・アイルランド上院議長と面会。
- 23日、アルジェリア外務省は、モスクワ郊外で発生したテロ事件に対し「卑怯で卑劣な」テ

ロ攻撃を「可能な限り強い言葉で」非難する旨のコミュニケを発表。

●25日、アッターフ外相はプリンケン・米国務長官と電話会談。

●26日、アッターフ外相は、記者会見を開き、アルジェリアの主導により25日に採択されたガザでの即時、永続的、無条件停戦を支持する安保理決議の実施を国連が監視できるようにするためのメカニズムを検討する旨発言。

●26日、アッターフ外相は、モロッコのアルジェリア大使館の財産没収事件は、アルジェリアからの回答を受けてモロッコが「適切」と判断したため、「解決済み」である旨言及。

●27日、大統領府は、セネガル次期大統領に選出されたファイ氏への祝辞のコミュニケを発売し、両国が友好の絆を強化し、兄弟である両国民の利益のために二国間協力を促進する意志を再確認する旨発表。

●27日、アッターフ外相は、デル・レー・サヘルEU特別代表(EUSR)と電話会談。

●28日、パレスチナ人の子ども45人と負傷したアルジェリア人6人、及びその同伴者がカイロ空港からアルジェリア空軍の医療用航空機2機でブーファリック空軍基地(ブリダ)に到着。

経済

●2日、ハシシ国営炭化水素公社ソナトラック総裁は、エンリコ・マッテイ・ガスパイプライン(地中海横断パイプライン)を通じて独への天然ガス輸送が開始された旨発言。

●3日、エネルギー・鉱業省は、2023年4月に発表した2024年末までの日量4.8万バレルの石油生産量の自主減産に加え、2024年6月末まで日量5.1万バレル減産を延長する旨発表。

●4日、ステランティス・グループは、マルチブランド車のメンテナンス及び修理のためのセンターをオラン県に開設。

●4日、ソナトラックは、サウジアラビアのMidad Energyとイリジ県のガス田開発に係るMoUに署名。

●5日、英アストラゼネカは、今後5年間で新たに5種類の医薬品を当地で製造する計画を発表。

●6日、中国自動車ブランド奇瑞(Chery)の当地代理店ALCは、同社の生産工場が2024年10月に生産開始予定と発表。

●5日-7日、ムーラ・アルジェリア経済再生評議会(CREA)会長は、パリでビジネス・フランスが開催した第15回アルジェリア会議に出席。

●7日、韓国・大宇トラックの同社当地代理店PENGPUは、当地での同社ブランド車の販売再開、セティフ県の同社組立工場増設を発表。

●7日、ソナトラックは、伊Tecnimont社との間で、スキクダ県の石油化学コンプレックス建設に係る契約を締結。

●9日、財務省税務総局(DGI)は、2020年1月1日以前の税滞納者について、2024年末までの滞納金支払による罰金免除を発表。

●9日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、当地を訪問中のファーウェイ代表団と会談し、再生可能エネルギー分野における協力について協議。

●10日、公共事業・基礎インフラ省は、アルジェ市内の地下鉄の延長計画の一部である、エル・ハラッシュから空港に通じるトンネルの掘削工事完了を発表。

- 10日、ソネルガスグループ中央研究開発局は、グリーン水素の生産に関する再生可能エネルギー開発センター(CDER)との間で、2つの協力協定に署名。
- 11日、ソナトラックは、スキクダ県の新しいLNG港に最初のLNG輸送船が接岸した旨発表。
- 13日、GECFは年次報告書にて、アルジェリアがアフリカ大陸での天然ガス生産量第一位で、南欧州へのガス輸出(パイプライン70%、LNG30%)の主要輸出国である旨発表。
- 14日、国営炭化水素公社ソナトラックは、伊Eni及びノルウェーEquinorとの間で、イン・サラ及びイナメナス地域の炭化水素の探査及び開発活動再開に係る覚書に署名。
- 14日、エル・バラカ銀行は、アルジェリアで生産されたフィアット車を対象に、イスラム金融方式で融資を開始する旨発表。
- 14日、当国携帯事業会社オレド(カタール資本)は、ファーウェイと5Gに係る契約を締結。
- 14日、財務省及び住宅・都市計画省は、登記簿や土地登録関係に係るデータ・情報交換の協定に署名。
- 14日、ワリード知識経済・スタートアップ・零細企業相は、南ア開催のGEC世界起業家会議に出席するとともに、南アとの間で、スタートアップ及び革新分野の協力関係強化及び専門家交換に係る覚書に署名。
- 17日、北京汽車(BAIC)は、子会社BAIC El Djazairを通じての販売開始式を実施。
- 19日、アウン産業・製薬相は、当地オマーン大使と会談し、両国の産業省間の協力強化に係る覚書に署名。
- 19日、2022年の新投資法で設置が規定された投資に係る不服申立て国家高等委員会 は、ブアレム大統領府官房長が委員長に任命されて始動。
- 20日、財務省税務総局(DGI)は、研究・開発・技術革新に関する税制上の優遇措置を発表。
- 20日、テブン大統領は、ムーラ・CREA会長と会談し、2022年11月から2024年2月末までに6103件の投資計画(3兆680億ディナール)が検討され、海外直接投資額は380億ディナール、パートナーシップ投資額は8440億ディナールであり、15万の新規雇用に繋がった旨発表。
- 20日、アルジェリア・ベンチャー(公的スタートアップ・アクセラレーター)と、診察関係及びバイオテクノロジー専門のスイス・ロシュ・アルジェ社は、アルジェリアの健康・医療技術関係のスタートアップ企業支援の覚書に署名。
- 21日、ファーイド財務相は、同省のデジタル・ネットワークを単一のサイトに統合し財政管理を改善するため、同省の情報システムに関する2024年から2028年の戦略的方向性計画を発表。
- 21-25日、中国公共外交協会は、中国国際報道コミュニケーションセンター(CIPCC)によるメディア交流プログラム「中国紀行」の一環として、アルジェリアの日刊紙「El Moudjah id」を含むアフリカの複数メディアを、中国通信建設会社(CCCC)が実施するインフラ計画地に招待。
- 23日、アウン産業・製薬相は、業界団体や国有持株会社と連携し、各企業や産業部門が抱える問題を徹底的に調査する作業部会を設置。

- 23日、証券取引管理委員会(COSOB)は、アルジェ証券取引所におけるアルジェリア人民信用金庫(CPA)の銀行株の公募が、1120億ディナール以上集まった旨発表。
- 24日、シオルファ運輸相は、2025年末までに建設が完工予定のジェンジェン港のコンテナターミナルの第一期工事終了後、6千船の入港が可能になる旨発表。
- 26日、独貿易・投資復興機関(GTAI)は、報告書にて、2023年にアルジェリアから1300万トンの液化天然ガスが輸出され、アフリカで第一位の輸出量を記録した旨言及。
- 26日、ステランティス・グループは、2024年第1四半期のアルジェリア自動車市場で、フィアット車が83.2%の市場シェアを誇り、9万7千台が輸入された旨発表。
- 26日、バダリ高等教育・科学研究相は、初のデジタルインキュベーター及び大学の学術研究に特化したプラットフォーム「Inchighalati」の立ち上げを発表。
- 26日、スタートアップ企業の促進と発展のための「ファーウェイ・スパーク」プログラム第一回がアルジェにて開催。13社のアルジェリア・スタートアップ企業が同プログラムでの支援対象に選抜。
- 26日、エネルギー・鉱業省と露ロスアトム社は、原子力の平和利用における協力に関する覚書に署名。
- 27日、ザハナ運輸相は、2023年に36ある空港で国内線・国際線合計1530万人の旅客を運航した旨発表。
- 28日、アルジェリア国立銀行(BNA)は、アルジェリア・サイバー・マーケット(ACM)と、ACMのEコマース・プラットフォームを通じたイスラム金融「Mourabaha Equipment」に係るパートナーシップを締結。
- 29日、国民保険評議会(CNA)は、報告書にて、2023年の保険市場の総売上高が前年比3.5%増の約1696億ディナールを記録し、自動車保険は1.6%増の約658億ディナールであった旨言及。
- 31日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、トゥーグラ県にて、国営企業Cosider社と伊企業による152メガワットの太陽光発電所の起工式に出席。

治安

- 5日、税関は、イリジ県において、国軍との協力の下で、薬物密輸を摘発し、向精神薬31万6千錠を押収、運搬に使われていたトラックの運転者を逮捕した旨発表。
- 5日、憲兵隊は、エル・ウェッド県において、車両不正取引と車両書類・ナンバープレート改竄を専門とする7人からなる犯罪グループを検挙した旨発表。
- 7日、国軍は、2月28日－3月5日実施の掃討作戦で、テログループ支援者13人を逮捕した旨発表。また同期間中、ボルジ・バジ・モクタール県で、テロリスト1人が軍当局へ投降。
- 14日、国軍は、6日－12日実施の2つの掃討作戦で、テログループ支援者2人を逮捕した旨発表。また同期間中、ブーメルデス県で、手製爆弾2個を発見し処理。
- 14日、憲兵隊は、オラン県ミセルギン地区で、若者1名が誘拐されたとの通報を受け捜査し、被害者を救出のうえ、被疑者2人を逮捕した旨発表。
- 21日、国軍は、13日－19日実施の掃討作戦で、ボルジ・バジ・モクタール県においてテロリスト1人を逮捕した旨発表。また同期間中、各地でテログループ支援者15人を逮捕した。

●28日、国軍は、20－26日実施の2つの別の掃討作戦で、テログループ支援者2人を逮捕した旨発表。

(了)